

議 事 録

1. 会議の名称 池田市発達支援システム検討委員会
2. 開催日時 平成28年8月30日（火）午後3時～5時
3. 開催場所 府市合同庁舎7階大会議室
4. 出席者
《委員》 片山委員長、小川副委員長、高津委員、
岡井委員、山田委員、乾委員、高光委員、竹内委員
※永井委員、村田委員、平田委員は欠席。

＜大阪大学＞ 村田特任研究員
＜大阪府＞ （地域生活支援課）瀬野総括主査
＜事務局職員＞
（発達支援課）武田課長、森田主任心理指導員、
（健康増進課）山田課長、
（障がい福祉課）大賀課長
5. 議 題
（1）平成27年度の取り組みについて
（2）平成28年度の取り組みについて
（3）大阪府における発達支援に関する取り組みについて
（4）各委員からの案件について（意見交換）
（5）その他
6. 議事経過 別紙
7. 公開・非公開の別 公開
※非公開の理由
8. 傍聴者数 なし
9. 問い合わせ先 池田市 子ども・健康部 発達支援課
（072）752-1111 内線190
（072）754-6102 （ダイヤルイン）
E-mail h-shien@city.ikeda.osaka.jp

議事経過

発言者	発言の要旨
事務局	<p>○開会（事務局挨拶、出席状況など報告）</p> <p>案件（1）平成27年度の取り組みについて</p> <p>27年度における各種事業に関する実績などについて説明。</p> <p>いけだつながりシート「lkeda_s（イケダス）」については、運用開始以降の総配布数が1,000部に達し、電子化の検討も進め、6月から先行サービスをスタートさせました。</p>
委員	<p>イケダスの電子化の検討について、状況を教えてください。</p>
事務局	<p>サービス開始からほぼ3カ月経過しましたが、7月末で254人の登録があります。</p>
委員長	<p>平成28年度の取り組みにつながる部分も多いので、案件（2）の説明を先にお願ひしてもよろしいですか。その後、案件（1）と（2）を合わせて、委員の皆さんからの意見をお聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>案件（2）平成28年度の取り組みについて</p> <p>28年度に入ってからの実施内容などについて説明。</p> <p>e-lkeda_s（イーイケダス：イケダスの電子化）について、先ほどお答えしたとおり、7月末で254人の登録があり、イケダス完成後の初年度の配布数が225部でしたので、利便性の向上が一定は図られたのではないかと考えています。</p>
委員	<p>やはり今どきの若いお母さんにとって、スマホのほうが便利なのだと思います。</p>
事務局	<p>今後はアンケートなども実施して、来年29年度の本格スタートに向け、より良いサービスが提供できるよう、引き続き検討を進めます。</p> <p>また、電子版はもちろんですが、従来の紙媒体としてのイケダスについても、より多くの方に知ってもらい、利用いただきたいと考えています。なお、教育委員会ともイケダスの説明会の実施を調整中です。</p>

様式第 2 号

委員	<p>説明会の開催については、2学期中に学園ごとであればと考えています。</p>
委員	<p>今年度から初めてイケダスを活用したが、とても良い。 たくさん書いて来られる方もいる中で、小さい頃のことを思い出したくない、書けないという意見もあった。</p>
委員長	<p>無理をする必要はない。現時点からでも書きためていくとよい。イケダスは書けば書くほど良いので、もっと活用してほしい。 また、本委員会でも「イケダスは市全体で使うもの」として決定している。市としても課を超えて取り組んでほしい。</p>
委員	<p>障がい児通所支援事業で、給付費が増加傾向にあるようですが、財政的には大丈夫ですか。削減されることはありませんか。</p>
事務局	<p>想定していたよりも増加しており、予算を上回る可能性もありますが、削減できるものではないので、その際は補正予算を組む予定です。</p>
委員	<p>大阪府の事業については、積極的に活用されていることを評価します。その中で保健師がペアレント・トレーニングインストラクターの養成研修に参加されているようですが、事業の実施はされるのですか。</p>
事務局	<p>保健師が子育てのアドバイスなどに使えるスキルを伸ばすため、参加しているものです。</p>
委員長	<p>大阪府の主旨に合った形で参加いただきたい。また、市の事業として実施してもらえればと思います。</p>
委員	<p>通所支援施設の底上げと数の確保についてお聞きしたい。</p>
事務局	<p>ちょうど昨日、大阪府庁で市町村合同ヒアリングが開催され、参加してきました。大阪府から「市町村が希望すれば施設の認可を控えることができるが、それはどのようなケースがあるか教えてほしい」と聞かれ、ほとんどの市町村が「大切なのは認可した後のフォロー」だと。本市同様、他市町村も事業所の指導などをする際の協力は惜しまないと話していました。</p>

	<p>そのような中、これまで大阪府が府内の各療育拠点で事業所を対象に行ってきた研修を、秋ごろに本市で実施する予定です。近隣市にも声を掛け、合同で開催したいと調整を進めています。</p>
<p>委員</p>	<p>障がい児タイムケア事業について。せっかく良い事業なのに、参加者が減少傾向。本当は参加したいのに、情報が届かず開催されているのを知らない方がいるのでは。初年度は全小学校に案内チラシを配布していたように記憶していますが。</p>
<p>事務局</p>	<p>事業の周知方法については、検討したいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>合理的配慮について、啓発が足りないと感じています。もう少し、皆さんに知っていただきたい。市として、ガイドラインを作らないといけない。</p>
<p>事務局</p>	<p>イケダスの活用こそが合理的配慮を推進するものと考えていますので、イケダスのPR記事を広報誌に掲載する際、合わせて啓発したいと思います。</p>
<p>大阪府</p>	<p>案件（3）大阪府における発達支援に関する取り組みについて 大阪府が実施する「発達障がい児者総合支援事業」について説明。</p>
<p>委員</p>	<p>ペアレント・メンター事業について、池田市内にメンターはいらっしゃいますか。</p>
<p>大阪府</p>	<p>池田市内にはいらっしゃいませんが、市外のメンターさんでも講師などに来てもらうことは可能です。</p>
<p>委員</p>	<p>もし可能であれば、養成研修を受けてメンターになりたいと思いますが、研修のスケジュールなどを教えてください。</p>
<p>大阪府</p>	<p>養成研修は平成26年度から実施しており、年間で30人程度の方が受講されています。28年度は基礎研修を修了された方を対象としたフォローアップ研修を2月に、既に登録されているメンターを対象としたスキルアップ研修を3月に実施する予定です。 そのため受講いただけませんが、非常にありがたく思います。</p>

様式第 2 号

事務局	<p>案件（４）各委員からの案件について（意見交換）</p> <p>委員さんからの案件はいただいておりません。</p>
委員長	<p>本日も皆さんから十分に意見をいただけたと思いますし、ちょうど予定時刻にもなってきましたので、その他、事務局からの連絡事項をお願いします。</p>
事務局	<p>案件（５）その他</p> <p>次回の開催は、何か案件が出ましたら、その際にも開催しますが、特に案件がなければ、例年どおり年度末（２月下旬から３月中旬ごろ）に開催したいと考えています。</p> <p>○閉会（委員長挨拶）</p>